

第 280 回「光学」編集委員会

2015 年 7 月 17 日(金), 山形大学東京サテライト会議室において, 今年度 2 回目の編集委員会が開催されました。議事ではまず, 前回委員会議事録の確認がなされ, 次に, 第 45 巻第 5 号および第 6 号の企画決定, 第 45 巻 7 号および第 8 号の第二次構想案, 第 45 巻第 9 号および第 10 号の第一次構想案の審議, 第 45 巻第 11 号および第 12 号の担当決定が行われました。その後, 新刊紹介, 光科学及び光技術調査委員会(関東, 関西), 論文投稿・審査状況, 各号の進捗状況の報告等がなされました。台風の影響から, 遠方の委員は急遽ネットを介した会議参加となりましたが, 支障なく議事が進行いたしました。

第 56 回光波センシング技術研究会講演会論文募集

本研究会は 1988 年に応用物理学会の研究会として発足し, 光波センシングの基礎, 応用, 実用化を軸に光技術の発展のために活動してまいりました。第 56 回研究会では「光波センシングにおける超高速技術」をテーマに取り上げます。

開催日: 2015 年 12 月 8 日(火)~9 日(水)

場 所: 東京理科大学神楽坂校舎森戸記念館

(〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-2-2)

主催団体: (公社)応用物理学会・光波センシング技術研究会

問合せ先: 光波センシング技術研究会事務局 佐々木 豊

〒184-0005 東京都小金井市桜町 1-10-32

電話 & Fax 042-381-0446

E-mail yssk@s.email.ne.jp

URL <http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>

平成 27 年度コニカミノルタ画像科学奨励賞公募

対象分野: 画像領域は, 大容量の情報伝達手段や画像処理と融合し, ハードコピーからディスプレイへ移行してきました。これに用いられる材料・デバイスはナノテク領域へ拡大し, 医学分野では, ライフサイエンス領域まで画像科学が展開されています。また, 光は通信の役割だけでなく, 微弱信号の検出や環境・エネルギー分野で多大な貢献をしています。これらの研究をはじめ, さまざまな研究分野における画像技術の活用や斬新な発想による, 光および画像科学に関わる研究

のご応募をお待ちしております。なお, 次の 3 分野に分けてテーマを募集します: ① 光と画像に関する材料およびデバイスの研究, ② 光と画像に関するシステムおよびソフトウェアの研究, ③ 光と画像に関するその他の先端的な研究。

応募資格: 日本の大学, 国公立および公益研究機関に所属する研究者で, 個人またはグループを応募資格とします。ただし, 年齢は応募締切日 9 月 30 日時点で 40 歳以下(グループは代表者)とします。

概 要:

- (1) 奨励賞および副賞: ① 奨励賞(優秀賞) 3 件程度(副賞 1 件 100 万円), ② 奨励賞 9 件程度(副賞 1 件 50 万円)
- (2) 奨励賞を受けられた方には, 1 年後「研究経過報告書」を提出していただきます。

選考委員会および選考基準等:

- (1) 選考委員会: 三宅洋一千葉大学名誉教授を委員長とする「選考委員会」で厳正に選考します。
- (2) 選考基準: 「発想の独創性」「計画の具体性」「波及効果」「実現性・実用性」の 4 項目で評価します。この中で, 「発想の独創性」を最も重視します。

応募方法:

- (1) 申請書: コニカミノルタ科学技術振興財団ホームページ <http://konicaminolta.jp/pr/foundation/> より申請書のフォーマットをダウンロードしてご利用ください。
- (2) 応募: 上記ホームページよりエントリーの上, 2015 年 9 月 30 日までに応募申請書をご郵送ください。
- (3) 結果通知: 2016 年 1 月以降
- (4) 注意事項: ① 申請書はご請求がない限り返却いたしませんのでご了承ください(他資料添付は不要)。② 受賞された研究についての学会発表(論文, 口頭)の際は本助成を受けた旨を明記してください。③ 入選者の氏名や研究テーマを当財団ホームページで公表します。また, 新聞, 雑誌, インターネット等で掲載される場合もございます。

財団事務局 / 申請書:

〒100-7015 東京都千代田区丸の内 2-7-2 コニカミノルタ株式会社内

公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団事務局
電話 03-6250-2120

日本光学会 news の掲載申込先：

〒400-8511 甲府市武田4-3-11 山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科 金 蓮花

電話 / Fax 055-220-8448 E-mail lianhua@yamanashi.ac.jp

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までにお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2015年7月27日現在の本学会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

(株)アドバンテスト研究所
(株)アルゴ
ウシオ電機(株)
オプトシリウス(株)
(株)オプトロニクス
オリンパス(株)
キヤノン(株)
(株)清原光学
(株)光学技研
興和(株)
(株)五藤光学研究所
コニカミノルタ(株)
(株)シグマ
(株)昭和オプトロニクス
ソーラボジャパン(株)
(株)タムロン
中央精機(株)
テルモ(株) 技術センター

(株)東芝
(株)トプコン
(株)ナック イメージテクノロジー
(株)ニコン
(株)ニデック
日本板硝子(株)
(一社)日本オプトメカトロニクス協会
富士フイルム(株)
古野電気(株)
マミヤ・デジタル・イメージング(株)
(株)溝尻光学工業所
三菱レイヨン(株)
ユニオプト(株)
(株)リコー
ルーマスソフト(株)
以上 33社 49口 (五十音順)

「応用物理」第84巻第9号(2015年9月号)目次

解 説

液晶偏光 GRIN レンズを用いたフレネルインコヒーレント
自己相関ホログラフィ(FINCH)顕微鏡……………橋本信幸
高電圧 SiC 素子の実現に向けた大口径、高品質 4H-SiC
エピタキシャル成長技術の開発……………土田秀一
トランジスタ型強誘電体メモリの応用展開……………金子幸広

最近の展望

プラズマの環境・バイオ応用……………永津雅章
極小領域のみで再現可能な超音波スピーカ……………西浦敬信

研究紹介

レーザー核融合技術における高速点火原理実証実験に向けた
中性子線検出技術の開発
……………清水俊彦, 猿倉信彦, 村田貴広, 菅 博文

基礎講座

温度管理技術(低温, 高温の制御)のコツ
……………丹波 純, 中野 享

連 載

科学を詠む⑨ 60兆分の1の世界……………松村由利子
Science As Art
イオン液体に咲いた花……………小柴康子